

会報

SHINSHIYOU

神私幼

平成25年9月1日

第185号

(昭和29年7月10日創刊)

発行：公益社団法人 神奈川県私立幼稚園連合会

発行人：会長 渡邊 真一

編集人：神私幼総務部(広報室)

発行：年4回(6月・9月・12月・3月)

発行部数：1700部

<http://www.shinshiyou.com>

〒221-0055 横浜市神奈川区大野町1-25 横浜ポートサイドプレイス509 アネックス5F

TEL. 045 (440) 3210 FAX. 045 (440) 3209



公益社団法人 神奈川県私立幼稚園連合会

第53回神奈川県私立幼稚園教育研究全県大会

今だから考えよう！幼稚園教育の本質を！



2-3 第53回神奈川県私立幼稚園教育研究全県大会

今だから考えよう！
幼稚園教育の本質を！

4-5 会長挨拶

全県大会を終えて

●幼稚園連合会会長 渡邊 真一

私学振興課長御挨拶

就任にあたって

●私学振興課長 南雲 正二

連載 副会長に聞く

第4回 みんなで考える保育を

●副会長 石井 稔江

6-7 研修事業部・研究部 活動報告

教員免許状更新講習会／八景島シーパラダイス研修会

新規採用教員研修会／幼稚園教育課程等神奈川県研究協議会

関東地区教員研修群馬大会 第七フォーラム／第4回 幼児教育実践学会

8-9 就職相談会を行って ●経営管理部長 山本 安雄

平成26年度 神奈川県予算要望 ●振興部長 武藤 保之

Pride of KANAGAWA

10-11 神奈川県私立幼稚園父母の会連合会

会長就任のご挨拶

●父母の会連合会会長 青木 功雄

シリーズ 地区協会会長は考える 第4回

●厚木協会 協会長 和田 貴樹

教育相談室から 見て見ぬふりのすすめ

●教育相談員 鈴木 敦子

投稿 幼稚園賛歌

12 研修会報告／新規加盟園情報／

平成25年度神奈川県連合会加盟園数・園児数

INDEX

第53回神奈川県私立幼稚園教育研究全県大会

今だから考えよう！幼稚園教育の本質を！



全県大会開催

総務部長 安西 透

平成二十五年八月二十六日(月) 県民ホールにて黒岩知事、古沢県議会議長をはじめ国会議員、県議会議員、県の行政の関係者さらに養成校の先生方など、多数のご来賓ご臨席のもと、県下十二協会より約二〇〇〇名が参加して、第五十三回神奈川県私立幼稚園教育研究全県大会が「今だから考えよう！幼稚園教育の本質を！」をテーマに開催され

ました。県連では五年毎に新しい研究テーマを決め、今後五年間各協会がこのテーマの下で研修大会や研究活動を行っていきます。

開会式では君が代斉唱後、五年の間の物故者に対して黙祷が捧げられました。渡邊会長の挨拶では、前回の大会から五年が

シンポジウムを聞いて

研究部長 亀ヶ谷 忠宏

今回のシンポジウムのテーマは、『保育の楽しさを実現するために』という事で、四人の先生方から色々なお話を聞くことができました。

若月先生の進行のもと、河邊先生からは、「保育が楽しいと思うのは子どもⅡ子どもが楽しいと思うことが保育者の喜びⅡ保育者にとって保育が楽しい」。そのためには、今、子どもがやろうとしていることを認めてあげる大人がいることが大事である、というお話がありました。

大豆生田先生からは、主に保護者への保育のひらき方について、事例を通してお話をさせていただきました。人生で大事なものは、幼児期に学ぶ。そのために「あそびが大事」と考えるが、それを保護者に理解してもらうのは難しい。いかに子どもにとつ

過ぎた時の速さに驚きながらも、県内唯一の幼稚園教育の責任団体として「公益社団法人」となり、その責任の重さを感じていること、また教職員の資質の向上には研究・研修活動が必要であり、時代の変化や多様化に対応した、更なる内容の充実に力を注いでいきたいとの挨拶がありました。

ご来賓の黒岩知事のご挨拶では、神奈川県が厳しい財政状況下ではあるが、県内の幼児教育を担っている私立幼稚園の関係者に対して深く敬意を表すとともに、教育条件の向上、保護者の経済的負担の軽減を図り、預かり保育や地域で子育てを支える環境作りに対して支援していきたい、また神奈川の未来を担う子どもたちのために皆様と協力していきたいとの挨拶がありました。

記念講演として、『子ども輝く未来のためへ宇宙の謎を探る小惑星探査機「はやぶさ」の挑戦』と題して独立行政法人宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究所教授 久保田孝先生のご講演がありました。

最初は宇宙の話なので難しいのかなと感じた参加者も多かったようですが、その不安はすぐに解消され、「はやぶさプロジェクト」の開発段階での様々なエピソードや小惑星や彗星について、先生の巧みな話術や未公開

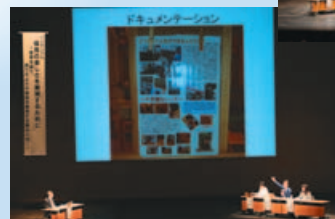
の映像などに、時間の経つのも忘れてしまうほどでした。開発中の人間関係や個性の発揮、失敗と工夫などは、幼稚園の子どものとも重なる姿がありました。先生の話を聞いて、「感動した」「とても良かった」という感想が多かったのもうなずける、内容の濃いご講演でした。

てあそびが必要であるかということを保護者に伝えるためには、保育者が保育をひらき、保護者を巻きこみ、子どものあそびがどれだけ学びの大きいものかを語れる保育者になる事が大切だと、久富先生の現場での実践の報告も踏まえながら、教えていただきました。

では、あそびの中で子どもたちは何を学んでいるのか。それを保育者が理解するためには、まず幼児の姿からそのあそびの中でどんな経験をしているのか、何が面白いのか、何が育っているのかを具体的に読み取ること。それらを踏まえて、次に必要な経験は何なのか、ねらい・内容を考え、その経験が満たされる活動・環境を用意し、その中での子どものつばやきを見逃さず、結果ではなく、プロセスを見ていくということが重要である、と河邊先生がお話してくださいました。



17:00
レセプション



16:00
閉会

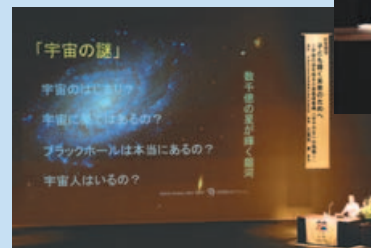


13:55
シンポジウム



13:40
研究テーマ

12:10
昼食
休憩



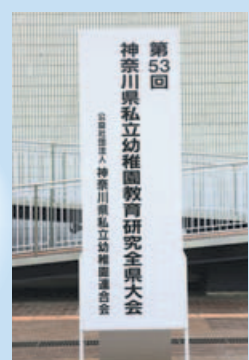
10:50
記念講演



10:40
休憩



10:00
開会式



9:30
受付



会長挨拶

全県大会を終えて

五年振りの全県大会で想うこと



県連合会 会長

渡邊 真一

設立六〇年の大会を二〇〇八年七月三十一日、パシフィコ横浜国立大ホールで開催した余韻がいまだに体のなかに残っています。それから五年、時の流れの速さに驚いてるところです。特にこの五年は連合会にとって六十五年の歴史のなかで、設立以来の大事業に取り組みました。それは「社団法人」から「公益社団法人」に組織替えをしたことです。県内唯一の幼稚園教育の責任団体として責任の重さを感じるところです。

さて、先人は昭和二十三年七月、二十三の幼稚園をもって神奈川県私立幼稚園協会を設立。十周年の際には三五一園の大団体となりました。しかし、当時の記録には、量的拡大と同様に教育内容においても大躍進はしてきただ、その質的向上には今後に残されたことが多いことも忘れてはならない」と協会としての課題を喚起しています。そ

して昭和四十四年、県内十二協会の連合体組織（社団法人神奈川県私立幼稚園連合会）となり、設立以来六十五年の月日が経過し、今大会を迎えました。その間、幼児教育の充実、私立幼稚園の振興をもって、幼児たちを健全に育てる使命が団体の主柱である」との方針は、各地区の研修・研究活動、振興活動を通して継承され、今日に至っております。特に研究活動は「研究の神奈川県」と全国の仲間から高い評価をいただき、県連にとって大きな財産となっています。

ところで、公益社団法人への改組に伴い連合会組織の見直しをいたしました。現在、連合会は総務、振興、研修事業、研究、経営管理の五部がそれぞれ事業を分担して、幼稚園教育の現代的役割を検討し、理事会の議を経て、運営委員会が中心となり諸事業を執行しているところです。

時代の変化により多様な研究・研修活動が求められていることに鑑み、研究部を「研修事業部」と「研究部」とに分けました。

者が一堂に会して、次の五年間の研究・研修の方向を確認し、共有しあうための全県大会を開催してきました。

研修事業部は幼児教育を促進するための調査等研修事業を担い、研究部は幼児教育に関する研究・研修事業を行っています。

平成二十年（二十四年度）までのテーマは、「心が響きあう幼児教育を」でした。そして今大会で確認された平成二十五年から五年間の研究テーマは、「今だから考えよう！幼稚園教育の本質を！」です。今後の五年間、各協会におかれましては、このテーマをご理解していただきながら、時代の変化に対応した研究・研修活動に取り組み、更なる幼稚園教育の充実を考究していただきたいと思います。

大会を支えてくれた皆さん、ありがとう

さる八月二十六日、神奈川県民ホールにて第五十三回神奈川県私立幼稚園教育研究全県大会を開催いたしました。当日は県知事・黒岩祐治様、県議会議員・古沢時衛様をはじめ大勢のご来賓を含む、およそ二〇〇名の教職員が集まり、盛大な会となりました。全県統一大会の開催にあたり、行政当局の皆様、そして歴代の役員、会員各位、教職員の皆さまが県内私立幼稚園振興のために、時々の時代の変化に一致協力して対応され、今日の神奈川県幼稚園教育を築きあげてこられたことに心からお礼と感謝の気持ちでいっぱいです。

国は平成二十七年を目途に認定こども園制度の検討を進めています。これを期に今こそ連合会が一つになって、この難関を乗り切っていく役割を強く感じます。

大会開催に関わられた諸先生方、ご支援をいただいた行政当局をはじめ関係各位にお礼を申し上げます。

就任にあたって

私学振興課長 南雲 正二



公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会におかれましては、

日頃から神奈川県幼稚園教育の振興、発展にご尽力をいただき、厚く御礼申し上げます。また、幼稚園教育振興のための日々の研修活動への取組みにつきま

しては、先日知事と共に伺いました、第五十三回神奈川県私立幼稚園教育研究全県大会を初めとして、多くの研鑽を積み重ねておられますことに敬意を表します。

本年四月に、私学振興課長に就任し、私学行政に携わることとなりました。本県の私立幼稚園をはじめ、私学振興に尽力してまいりたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、幼稚園教育につきましては、就任からまだ半年ですが、様々な場面で、私立幼稚園連合会の活動や研修などを拝見させていただきます。

そうした中で、神

奈川の幼稚園教育を

担う皆さまの「苦勞と熱意」によって神奈川県の子どもたちが支えられていることを実感しています。

県といたしましても、厳しい財政状況の中で、従来の経常費補助に加え、預かり保育や地域開放の補助の充実などにつとめてまいりましたが、引き続き、皆さまの協力を得て、子ども・子育てを支える社会環境整備や誰もが「いのち」を輝かせ、安心して暮らせる社会づくりを推進し、子育て環境の改善を図ってまいりたいと思います。

私立幼稚園連合会の皆さまにおかれましても、神奈川県の子どもの健やかな成長のために一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。ごあいさつとさせていただきます。

副会長に聞く

第4回

連載

副会長に就任した五名の先生方に

私の考える県連の在り方や役割について

という観点からご意見をいただき、シリーズでお送りします。

第四回目は

石井稔江副会長にお聞きしました。



副会長(研究部担当) 石井 稔江

みんなで考える保育を

四月に設立された内閣府の子ども・子育て会議は、七月までに五回の会議を開きました。基準検討部会も三回の会議を開催しています。県内では二十四市町村で子ども・子育て会議が設置され、一〇市町村が今後対応予定となっています。子ども・子育て支援新制度は「税と社会保障の一体改革」の一端として制定されたものであり、子どもをどのように育てていくかの視点や議論は全くありません。本質的な議論のないまま、平成二十七年の新制度施行に向けて作業が進められています。

私立幼稚園の多くは新制度にながしかの期待を抱きつつも、将来の構想を決めかねているのが現状だと思います。施設型給付では園児数に比例して園の収入が増減するため、安定した経営は難しくなります。上乗せ徴収を認めていることは、施設型給付だけでは経営できないことを示唆しています。その上、長時間の開園を条件とされます。

一方、市町村による保育実施義務は今まで通りであり、保育所は実質的に新制度の枠外になっています。新制度に参加するのは、私立幼稚園と無認可保育所のみになりそうです。

今必要なのは、私たちの不安や疑問、要求を積極的に発言していくことです。喧伝されている待機児童の問題は保育所の入所定員を増やすだけでは解決しません。幼児教育・子育ての子どもへの最善の利益や、すべての子育て家庭の支援、質の高い幼児教育・保育をみんなで考えて、提案していきましよう。保育所運営の為に支出されている公費の内容と額を行政に開示してもらい、幼児の格差を数字で示し、公正・公平な制度とするよう要求しましょう。

幼児期の教育は人格形成と生きる力の基礎を育むものです。危機に直面している幼児教育を守り発展させていくために、すべての園が一丸となって行動することが求められています。みんなで情報交換し知恵を出し合う、県連はそのコーディネーター役を果たす必要があると思います。

研修事業部・研究部

活動報告

教員免許状更新講習会

研修事業部 部長 岩本 勉

去る八月五日・六日、鶴見大学記念ホールにおいて教員免許状更新講習会（必修領域）を実施したところ、一四四名の参加を得ることができました。一日六時間の講義に、評価（テスト）というタフなスケジュールにもかかわらず、参加された先生方はとても意欲的に受講していました。

今年度から講習の申し込み方法をインターネットによる受付のみとし、複数の講習を一括して申し込むことができるように変更しました。必修領域の講習会も川崎協会のご協力を得て、鶴見大学と洗足子ども短期大学の二か所の会場から選択できることとなりました。教員免許更新制度については様々な意見がありますが、制度がなくなることは考えにく

八景島シーパラダイス研修会

平成二十五年八月二十二日(木)

研修事業部 黛 裕治

本研修会は昨年の関東地区神奈川大会のフォーラムのひとつとして企画されましたが、参加希望者が殺到し、県外参加者を優先した為に県内の先生方から再度の開催が要望されていた研修会です。研修案内の送付と共に申込みが殺到した為、定員を増やして開催することとなりました。当日は好天に恵まれ、朝九時半の受付時刻までに参加者全員が集まり、四つの班に分かれて日程の説明等の後、いよいよ研修が開始されました。

①学芸員と共に水族館「アクアミュージアム」



新規採用教員研修会

研究部 次長 高 方子

新規採用教員研修会は、神奈川県からの助成を受けて、連合会と県とが連携を取りながら実施している事業です。

五月にスタートし、一学期中に三回の研修会を開催しました。また、八月五日・六日には鶴見大学に於いて第四回の研修会を行いました。この回は、各日、六時間というハードなスケジュールの二日間でしたが、学びの多い研修会となりました。

第一回

「保育の役割―新人に求められるもの―」

塩 美佐枝先生（聖徳大学教授）

第二回

「体験しようアドベンチャー教育第一回」

白山明秀先生

（玉川大学学術研究所こころの

教育実践センターTAPトレーナー）

第三回

「子どもの心に寄り添う保育

―子どもの見方・捉え方―

第四回

岸井慶子先生（秋草学園短期大学教授）

＊「子ども理解と保育者の援助」

＊ 平山許江先生（文京学院大学教授）

＊「保育に於ける画具・画材と

色」についての基礎知識

「身近なものを使った造形遊び」

＊ 石井秀卓先生（ひがし幼稚園園長）

＊「指導計画作製について

―経験の多様性・連続性―

佐藤康富先生（鎌倉女子大学短期大学教授）

い状況です。県内の大学が教員免許状更新講習から撤退しているなか、県連が開設する講習会の受講希望者は年々増加しています。

今年度は十一月九日(土)・十六日(土)の二日間、小田原女子短期大学の先生方のご協力を得て、選択領域(十二時間)の講習会を実施します。また、十一月十九日(火)、平和学園幼稚園で開催される公開研究保育も免許状更新講習の認定を受けています。多くの先生方のご参加をお待ちしています。



の説明を受けながらの見学

②海の動物たちのショー「ウエリナアロハ」見学
③「うみファーム」にて釣り体験と「オーシャンラボ」見学

④普段は立ち入ることの出来ない水族館「アクアミュージアム」のバックヤードツアーとして、学芸員の解説を聞きながら水族館内外の裏側を見学し、水族館の仕組みを学ぶ
⑤「ドルフィンファンタジー」見学
⑥「ふれあいラグーン」見学

以上のプログラムを二班ずつ重ならないように、スケジュールを入れ替えて行なわれました。そして最後は全員がレストラン「グリーンヒル」にて、釣ったアジのフライを試食後、学芸員の櫻氏より、人間が成長していく中で様々な生き物と接することの重要性等についてお話をいただき、全てのプログラムを終了しました。

屋外での見学や体験もあり、盛りだくさんの一日研修で少し疲れた様ですが、楽しく学びや発見の多い研修会となりました。二学期からの保育に生かされることでしょう。

＊実技分科会

・「造形」

昭沼晃子先生（関東学院大学准教授）

・「絵本」

内藤知美先生（東京都市大学教授）

・「自然」

佐藤英文先生

（鶴見大学短期大学部准教授）

・「体を動かす遊び」

有木 昭久先生

（日本児童遊戯研究所所長）

第五回として十月に「体験しようアドベンチャー教育第二回」を開催し、今年度の研修は終了になります。

自分自身の保育や園の子どもの姿を思い浮かべながら受講し、言葉や行動から子どもの想いを汲み取ったり、子どもに寄り添うことの大切さ、そして教師自身の創造性や感性を生かした保育や、指導計画作成などの講義・実技を通して学び、二学期からの保育に意欲を膨らませたようです。

今年度は約一八〇名の参加（横浜・川崎・相模原を除く）があつたものの参加率は新規採用者の五割に満たないとい

うのが実態です。

今後

もより多くの幼稚園の教員が受講できるよう、各園のご理解と環境づくりをお願いいたします。



幼稚園教育課程等神奈川県研究協議会

研究部 鷲尾 紀行

幼稚園教育課程等神奈川県研究協議会が七月二十三日・二十四日の両日、かながわ県民センターで開催されました。

一日目は大妻女子大学教授・柴崎正行先生から「幼児期に對話する力を育むために」というテーマで講演がありました。講演では「幼児の対話力を大事にしている」と呼びかけ、いくつかの視点を強調されました。①対話力とは、お互いを理解して合意していくこと。②会話には、伝達・議論・対話などが含まれている。③教師は幼児の対話に共感的に参加して大事にする。など七つの視点が示されました。

二日目は講演及び三分科会が行われました。午前中は東京学芸大学教授・岩立京子先生から「幼稚園における学校評価の意義と実際」保育実践に生かす学校評価の在り方」というテーマで講演がありました。その内容は①幼児教育に対する社会的要請と今日的課題。②幼児教育の課題と学校評価。③幼稚園において学校評価を実施することの難しさ。④幼稚園における学校評価の実際。⑤学校評価を保育実践に生かすための問い。以上の視点から細かく丁寧に説明をしてくださいました。

午後の分科会の提案および研究討議では

分科会1「人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わうようになるための環境の構成や教師のかかりについて」

提案 中央幼稚園 教 諭 田辺 夕貴

助言 横浜隼人幼稚園 園 長 水越 美果

記録 柿の実幼稚園 園長代理 小島 哲史

分科会2「特別な支援を必要とする幼児の状態等に応じた計画的、組織的な指導の在り方について」

提案 ゆうゆうのもり幼稚園 教 諭 宮本 雄太

助言 さがみひかり幼稚園 園 長 深沢 肇

記録 のびのびの幼稚園 教 諭 五月女千鶴

分科会3「幼稚園における学校評価について」

提案 あけの星幼稚園 教 諭 峰松 南海

助言 鴨居幼稚園 園 長 今井 恵子

記録 鴨居幼稚園 教 諭 桑原 紀子

一五二名の参加者はそれぞれの分科会で、貴重な提案をもとに、熱心な研究討議を行いました。幼稚園以外に保育園、子ども園、小学校からも参加があり、遠方では、いわき市から五名の先生が熱心に参加され、助言の先生からも適切なアドバイスをいただき有意義な研究協議が行なわれました。

関東地区教員研修群馬大会 第七フォーラム

自分(白園)の保育を開き、他者へ伝える力を高める

外部ゲスト・佐藤康富先生 内部ゲスト・齋藤正典先生

研修事業部 次長 山田まり子

大会二日目、第七フォーラムは五十二名の参加者を迎えスタートしました。

話題提起では、小鮎幼稚園・千葉さやか先生「保育の質を保ち、向上させるためには」。津田山幼稚園・片岡茉莉先生「保育者間で自身の保育知識を開示しあい、共有・実践することで他者と伝え合う力を高める」。

ゲストの先生から、「全て具体的に示す」、「一人一人の姿にフォーカスする」、「共通理解・ディスカッションを重ねる」、「繰り返し・PDCAサイクル・スパイラルに」、「次に繋げる」など主題に取り組みヒントをたくさん頂きました。

午後は付箋を使いながらのグループ討議。討議の後のグループ発表では、発表しながらホワイトボードにポイントを記入する方法をとりました。可視化することで自然とまとまりが付き、目指すべき点と問題点が明らかになると感じました。

最後にゲストの先生からたくさんのお話をいただきました。「保育の質」は①構造(設置基準など)の質、②結果の質、③プロセス(子どもとの関わりなど)の質、からなっている。また、大会一日目の基調講演・鯨岡先生のエピソード記述やドキュメントランニングストーリーなどにも触れ、凝縮した時間となりました。このフォーラムを無事終え、自分(白園)の保育を開くこと、伝える力を高めること、そして、「保育の質」を多くの方々に考えて欲しいと願います。

第四回幼児教育実践学会

研究部 佐伯 妙有

全日本私立幼稚園幼児教育研究機構が主催する幼児教育実践学会が四回目を迎え、今年度は東京を離れ、初めて福岡を会場として八月二十三日・二十四日と五九二名の参加を得て行われました。佐々木正美先生の記念講演では、その一言一言に先生の今までの生き方、心情が溢れていて、参加者が一体となって傾聴する会場で、共感することの大切さを切々と語っていただきました。

神奈川からは、特別研究A部会から「幼児理解を中心とした保育の質の向上を目指した研修のあり方」というテーマで口頭発表を行い、満席の分科会場で有意義な討議に沸いた中、鎌倉女子大学の佐藤康富先生より、子どもの育ちにふさわしい保育が出来るよう共通理解をもって共に学び合うことの大切さを話していただきました。

ポスター発表では、神奈川の宮前幼稚園、平和学園幼稚園、鴨居幼稚園をはじめ全国から二十六園の出展があり、各幼稚園のブースはどこも人だかりで、参加者が出展園の保育の有り様を熱心に聞いている姿が印象的でした。その内容もバラエティーに富んでいて、活動や生活のみならず、色や記録、教育課程等に特化したものもあり、発表の仕方にもそれぞれ工夫が凝らされていました。

また田中雅道先生から「保育の質と縦断研究」というテーマで、児童期に対して幼児期の学びをどう捉えるかをお話いただき、秋田喜代美先生からは、保育環境の一場面の切り取りから考えるPEMQという保育評価の話をしていただきました。それを一年目から三年目の先生が実践して、その成果や思いを全体会場で堂々と発表していた姿などを見ると、若い先生が自信を持つことの大切さを感じました。

それぞれの内容がとても深く、また参加者の姿勢もとても積極的だったのが印象に残りました。これから保育の質が問われる中、有意義な学会だったと思います。

就職相談会を行って

経営管理部長 山本 安雄



会からは、養成校への協力呼びかけも課題の一つと感じました。

今回で三回目の就職相談会、どのように行うのか？ 時期はいつが良いのか？等々、経営管理部では、様々な検討を行ってきましたが、運営する我々と参加者、双方に都合が良いと思われる時期で、今年は、七月六日(土)に例年通りようちえん会館にて行いました。午前十時から午後三時までの間に、三十五校、二六六人の参加がありました。地の利から横浜在住者の参加が多かったのは、毎年のことで、やむを得ないと思いますが、養成校によって、積極的に参加を呼びかけて協力してくださったところもありました。次

肝心の相談内容ですが、応募手続き(時期、順序)、試験内容、そして当然保育内容、勤務時間、休日について、給与について等々、大ざっぱに分ければ労働条件と教育内容に分けられます。言うまでも無く、これは各園まちまち。相談を受けた先生方は、自園の宣伝は禁止されている中で、「自分が働きたい幼稚園を見学し、園長先生によく話を聞いた上で応募して下さい」と総括するしか無いのが現状です。

ただ、学生は、労働条件よりも教育内容に重点を置いた質問が多く、自分が学んできた理論や実践を生かせる職場を探している純粋な志が多いうかがえました。いや、たぶんこの純粋な志は、昔から保育者を目指す方々には有ったはず。労働環境が良いと胸を張れない責任は、その志にもたれなかった、労働環境の改善にあまり意を払わ

なかった経営者側にあります。学生たちの志を生かし、些細なことで挫折感を味合わせることの無いよう、働きがいのある職場環境(時間的、金銭的、保育内容、人間関係、保護者対応も含めて)を整えるのが経営者側の役割と再確認した一日でした。いや、箸にも棒にもかからない先生も、たまには、いますけど……。



— DATA —

- 参加人数 226名
- 参加学校数 35校
- 参加学校名

鶴見大学短期大学部/関東学院大学/東洋英和女学院大学/洗足こども短期大学/蒲田保育専門学校/帝京大学/横浜高等教育専門学校/桜美林大学/相模女子大学/青山学院大学/昭和女子大学/東京純心女子大学/東京スポーツ・レクリエーション専門学校/駒沢女子短期大学/日本体育大学女子短期大学部/鎌倉女子大学/日本女子体育大学/横浜こども専門学校/聖徳大学/田園調布学園大学/東京家政大学/東京福祉大学/日本女子大学/立教女学院短期大学/大妻女子大学/共立女子大学/国士舘大学/淑徳大学/聖心女子専門学校/東京医療福祉専門学校/東京保育専門学校/新渡戸文化短期大学/日本工学院八王子専門学校/武蔵野大学/目白大学



平成26年度 神奈川県 予算要望



振興部長 武藤 保之

今年も予算要望の時期を迎え、第一回の子ども・子育て会議基準検討委員会が開催され、具体的な大枠が動き出し地方版の子ども・子育て会議が始まる時期となりました。

内容は断片的で情報が充分に取得できない状態で、認定こども園の決断を選ばなければならない状況は極めて厳しく、課題山積です。今後は政局が安定し幼児教育に予算が振り分けれることを期待したいです。

将来に向かって禍根を残さないためにも、幼稚園教育の必要性を考えて行きたいと思います。



平成二十六年年度県・国の予算要望にあたり、本年度は参議院選挙前の六月十一日より自民党、民主党、みんなの党、県政会県議団、公明党の順に回り、そして八月十二日に渡辺会長他九名で県民局長のもとに予算要望の柱である経

常費補助金に関わる内容を説明致しました。神奈川県は経常費補助単価は四十七都道府県で最下位の状況の中で、以下の要望をおこないました。

- 市町村子供子育て会議に行政区域境界に所在する幼稚園等の問題もあり地区幼稚園協会の参加をお願い致します。
- 認定こども園の申請にあたり、申請書の記載方法等が示されておらず作成に苦慮しております。県より申請指導の充実に向けてのご助力をお願い致します。
- 経常費一般補助金算定の見直しを頂きたい。内容は幼稚園は園長・主任・一般教諭に付いて同一区分に取り扱われております、小学校・中学校・高等学校は三区分にされております。同じ学校ですので幼稚園も三区分に格付をした上で人件費補助を算定される様をお願い致します。
- 幼稚園の教職員の質の向上を目指し各園で一種免許所持者の数が増えたりしておりますので、国庫補助金を活用し一種免許教員の教職員割額の増額をお願い致します。
- 補助対象教職員の増員。軽度発達障害を持つ園児の増加に伴い実教員数やパート教員が増えている現状でより細かい質の高い保育を維持するためにも補助対象職員数の見直しをお願い致します。

祝

Pride of KANAGAWA

平成25年安全功労者内閣総理大臣表彰

(消防関係)

平成25年7月1日に、友愛幼稚園幼年消防クラブが安全功労者内閣総理大臣表彰を受賞されました。おめでとうございます。



安全功労者内閣総理大臣表彰は、毎年7月1日を「国民安全の日」とし、「国民の一人ひとりがその生活のあらゆる面において、施設や行動の安全について反省を加え、その安全確保に留意し、これを習慣化する気運を高め、産業災害、交通事故、火災等国民の日常生活の安全を脅かす災害の発生を防止を図る」という趣旨に基づき、行われているものです。

- 学校法人以外の私立幼稚園にも補助単価の増額をお願い致します。
- 預かり保育料の保護者負担の軽減の観点から更なる補助金額の充実をお願い致します。
- 地域開放事業補助金の増額と学校法人以外の私立幼稚園にも地域開放事業に付いて県の補助対象制度の充実をお願い致します。
- かながわようちえん会館に幼児教育センターで公益性の高い教育相談事業への継続的なご支援をお願い致します。
- 耐震補助金小学校・中学校・高等学校等は耐震化事業は進んでますが幼稚園では昭和五十六年以前に建てられ

れた園が数多く安心・安全の面で不安です。早急に耐震化補助事業の助成をお願い致します。
国へのお願い
○全日本私立幼稚園連合会では幼児教育無償化に向け、署名活動を全国展開しております。県内幼稚園の保護者の負担軽減をぜひ進めて行きたいと考えております。現在実施されている就園奨励費補助事業の法制化に伴い所得制限のない恒久補助金に格上げをお願い致します。

以上十項目に関し県財政の厳しいところ、補助額の更なる充実をお願いしてまいりました。

神奈川県私立幼稚園
父母の会連合会

父母連合会総会報告

浅谷 学（中野島幼稚園）

神奈川県私立幼稚園父母の会連合会の委員総会が六月十八日に、かながわようちえん会館会議室で開催されました。総会は馬場絵里平成二十四年度父母連副会長の挨拶で開会し、渡邊眞一会長と岩瀬久美子二十四年度父母連会長の挨拶、二十四年度父母連役員の紹介の後、武藤保之振興部長が議長に選任されました。議事では、二十四年度の事業報告と収支決算報告・監査報告が承認され、続いて、来る十一月五日に海洋冒険家の白石康次郎氏を講師に迎え、パシフィコ横浜で行われる父母連研修大会の実施等を盛り込んだ二十五年度の事業計画案と収支予算案が全会一致で承認されました。次に、二十五年度父母連役員の選出が行われ、川崎市議会議員でもある青木功雄会長をはじめとする新たな陣容が決定しました。青木会長は「幼児教育の充実のために貢献していきたい」と抱負を語りました。

最後に、小澤俊通副会長から二十四年度父母連役員に一人一人に感謝状と記念品が贈呈され、石井稔江副会長の挨拶で閉会となりました。

会長就任のご挨拶

父母の会連合会 会長

青木 功雄



神奈川県私立幼稚園連合会の渡邊眞一会長をはじめ、連合会関係の皆様、そして県内全域約六〇〇園からなる各幼稚園の先生、関係者の皆様には、日頃から真摯に子どもと向き合い、より良い幼児教育、幼稚園教育にご尽力いただいておりますことを改めて感謝申し上げます。

平成二十五年度の神奈川県私立幼稚園父母の会連合会の会長を務めさせていただくことになりました、青木功雄です。神奈川県の園児数は東京都について全国で二番目に多く、約十二万人の園児が幼稚園に通っています。また、就学前の子どもの約七割が幼稚園に通うという地域でもあります。そうした、全国的にも幼児教育に関心の高い地域ということ、重責ではありますが、幸いにも、明るく、やる気のある優秀な役員の皆様に神奈川全域からお集りいただきましたので、共に力を合わせて、皆様のお役に立てるように、頑張っております。

私たち父母連活動で大切なことは、何においても、子どもが中心であるという事です。昨今は、社会や家庭環境

三二万人分の署名が安倍晋三内閣総理大臣に手渡されました。他の先進諸国でも、幼児教育の重要性が注目されています。日本では、待機児童と言われる、いわゆる福祉サービスの分野の充実ばかりが話題となつていますが、世界的にみれば、幼児教育の内容を深めることについても議論されるべきではないでしょうか。神奈川県には教育に熱心な幼稚園がたくさんあります。結果の平等は難しいですが、子どもたちには、機会の平等を、出来るだけ多くのチャンスを与えてあげたいと思います。

今後、皆さんと出来るだけ多くの情報を共有しながら、楽しく、明るく、元気よく、子どもが社会の真ん中で輝けるようにして参りたいと存じます。どうぞ、宜しくお願い致します。

●平成25年度父母連常任委員名簿

役職	氏 名	園 名
会 長	青 木 功 雄	川 崎 め ぐ み (川 崎)
副会長	山 田 貴 子	し ん よ し だ (横 浜)
副会長	浅 川 香珠代	川 崎 こ ま ど り (川 崎)
庶 務	川 戸 由美子	東 俣 野 (横 浜)
庶 務	木 田 り さ	鎌 倉 し ろ や ま (鎌 倉)
会 計	伊 藤 陽 子	南 聖 心 (横 浜)
委 員	稲 葉 順 子	横 浜 昭 和 (横 浜)
〃	中 澤 み さ	れ ん げ (小田原)
監 事	中 島 真理子	伊 勢 宮 (厚 木)

平成25年度父母の会連合会研修大会

日時：平成25年11月5日(火)9:30受付10:00開演
会場：パシフィコ横浜 会議センターメインホール
講師：白石 康次郎（海洋冒険家）

地区協会会長は
考える

第4回

シリーズでお送りしている地区協会会長は考える。今回は厚木協会の協会長にお聞きしました。

厚木協
会

県連と地区協会

和田 貴樹

厚木地区私立幼稚園協会



全日私幼連や

県連がその組織力を活

二年任期の協会長の二年目の中間点を迎えています。一年目は初めての事が多く必死に業務を行っていましたが、二年目の今、余裕が有る訳でもないのに中弛みをしている自分に活を入れ直しているところです。

厚木地区協会は厚木市と愛川町にある二〇園（厚木市十六園、愛川町四園）で構成されている協会です。残念ながら厚木で二園未加盟園があります。少子化がジワジワ進み、今後新しい園が出来ることは考えにくい地域であると考えています。

さて私たちが連合会や協会を組織する意義の一つは、いち早い情報の入手と共有であると考えます。特に今の幼稚園の置かれている現状では顕著であると思います。数年内に私たちは大きな決断を迫られています。その為には的確な情報を出来るだけ早く得ることが大変重要です。

教育相談室から

見て見ぬふりのすすめ

普通はよくない行為とされています。見て見ぬふりというの。しかし、親や保育者はときどき子どもの行為に対して見て見ぬふりをしてはどうでしょうか。「なかなか着替えをしない」、「食事が遅い」、「お喋りしていて話をきかない」などなど困ったことが多いですね。ですが、いざれでできることはできるようなになり、できないことはいつまでたつてもできません。パジャマでランドセルを背負っている小学生を見かけることはありますが、人の話をきけない大人はたくさんいます。子どもは幼稚園の最初の一年間で多くのことを学んでいます。けれども学んだことの実行を妨害する要因はたくさんあ



教育相談員 鈴木 敦子先生(臨床発達心理士)

ります。アゲハチヨウが飛んできただけで子どもは次にすることを忘れます。ですから、年中児になったら二回に一回は子どもの行為を見て見ぬふりをしてみませんか。結構大人にとってはつらい修行です。「見ている」のに「見ていない」ふりをするのですから。本当に見えなくなったら達人です。それはきつと手抜きの子育てや保育をしているのではなく、どうでもよいことと重要なことを見分けられる目を養えたのだと思います。

相談の
申し込み

電話にて公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会事務局へ
申し込みください。 TEL 045-440-3210

投稿

学校法人安部幼稚園
理事長兼園長

安部 富士男

幼稚園教育経営が年々難しくなる時代だからこそ、子どもたちに励まされて、生きる力の糧とすることの大切さを痛感しています。そんな生活の中で生まれた句を綴ってみました。

幼稚園賛歌

かぐのみの香に身を寄せてままごとす
ままごとの座の風軽ろー梅咲きつぐ
さくらんぼ かざす子の手に空深ー
ビワを食む子の背に優ー空の藍
蟬の羽化見つめる稚児はみなほとけ
芋を握る 稚児の背丸ろー蒼天下
稚児編みー銀杏花束母の掌に

研究会報告

研究部主催

研修事業部主催

開催日	研 修 名	会 場	講 師	テ ー マ	参加者数
6/ 6(木)	新規採用教員研修会	かながわ ようちえん会館	玉川大学学術研究所こころの教育実践センター TAPTトレーナー 白山 明秀 先生	「体験しようアドベンチャー教育 第1回」	134人
6/14(金)	教育史セミナー	かながわ ようちえん会館	安部幼稚園 園長 安部 富士男 先生	及川平治に学ぶ	20人
6/17(月)	若手後継者のための 保育勉強会	かながわ ようちえん会館	聖心女子大学 講師 河邊 貴子 先生	「保育内容や園環境の見直し」	33人
6/19(水)	新規採用教員研修会	かながわ ようちえん会館	秋草学園短期大学 教授 岸井 慶子 先生	「子どもの心に寄り添う保育 ー子どもの見方・捉え方ー」	137人
6/26(水)	藤沢オープン講座	藤沢市民会館	和泉短期大学 准教授 相馬 靖明 先生	「遊びの中の子どもの育ち ー新学期の保育を振り返るー」	66人
6/27(木)	統合保育基礎講座	かながわ ようちえん会館	Nippon Data社会福祉研究所副所長・ 教育福祉研究室室長 精神保健福祉士 上原 文 先生	「子どもの心の発達・子どもをめぐる環境」	120人
7/12(金)	厚木オープン講座	厚木文化会館	平田正於舞踊研究所講師・(社)全日本 児童舞踊協会理事 平多 公了 先生	「運動会DANCE」	40人
8/ 5(月)	新規採用教員研修会	鶴見大学	文京学院大学 教授 平山 許江 先生	「子どもの理解と保育者の援助」	175人
			ひがし幼稚園 園長 石井 秀卓 先生	講演「保育における画具・画材と色についての基礎知識」 実技「身近なものを使った造形遊び」	175人
	教員免許状更新講習 兼10年経験者研修会		玉 川 大 学 教授 若月 芳浩 先生	◇学校の内外における連携、協力について・ 保護者・地域社会との連携 ～障がいのある子どもを含む連携の方向性～	144人(免許) 14人(10年)
			文京学院大学 教授 平山 許江 先生	◇教職についての省察	11人
8/ 6(火)	新規採用教員研修会	鶴見大学	鎌倉女子大学短期大学 教授 佐藤 康富 先生	「指導計画作成についてー経験の多様性・連続性ー」	175人
			関東学院大学 教授 照沼 晃子 先生	造形	46人
			東京都市大学 教授 内藤 知美 先生	絵本	42人
			鶴見大学短期大学部 准教授 佐藤 英文 先生	自然	37人
	教員免許状更新講習 兼10年経験者研修会		日本児童遊戯研究所 所長 有木 昭久 先生	からだを動かすあそび	43人
			清泉女子大学 教授 吉岡 昌紀 先生	◇子どもの変化についての理解 ～社会・関わり方・発達～	144人(免許) 12人(10年)
8/22(木)	八景島シーパラダイス 研修会	八景島 シーパラダイス	八景島シーパラダイス 飼育員	「八景島シーパラダイス職業体験研修」	71人

平成25年度神奈川県連合会加盟園数・園児数

協会名	園数	園児数	前年度 園児数	前年 度比
公益社団法人横浜市幼稚園協会	258	52,345	53,766	-1,421
公益社団法人川崎市幼稚園協会	83	22,293	22,469	-176
横須賀市私立幼稚園協会	30	5,044	5,221	-177
特定非営利活動法人藤沢市私立幼稚園協会	31	6,142	6,635	-493
鎌倉私立幼稚園協会	22	3,132	3,174	-42
茅ヶ崎市私立幼稚園協会	17	3,709	3,783	-74
湘央地区私立幼稚園協会	41	6,882	6,960	-78
小田原私立幼稚園協会	11	1,312	1,330	-18
相和私立幼稚園協会	27	5,376	5,692	-316
一般社団法人相模原市幼稚園協会	37	8,445	8,565	-120
逗葉私立幼稚園協会	6	755	931	-176
厚木地区私立幼稚園協会	20	2,984	3,032	-48
計	583	118,419	121,558	-3,139

県連設立 1948年(昭和23年)

ようこそ連合会へ 新規加盟園情報

横浜市幼稚園協会

学校法人若葉台学院

プレススクール若葉幼稚園

〒241-0801 横浜市旭区若葉台2-9-2

TEL. 045-921-3223

FAX. 045-744-7088

理事長 坂本 奈穂子

園 長 鈴木 美代子

設立年月日 昭和55年11月12日



編集後記

夏休みを考える

この会報が発行される頃には、消費税増税が気になっていることと思います。7月に行なわれた参議院選挙は、自民党の圧勝に終わりましたが、今後、景気対策や子育て支援等の内容や実行力が問われることになるでしょう。

身近な施策としては、「子ども・子育て関連三法」に基づく、ニーズの調査や支援計画の策定など、様々な支援体制の検討等が考えられますが、待機児童解消や幼稚園と保育園の垣根を無くすことがメインとなっている気がします。夏休み等の長期休業中は「預かり保育」を行っている園が年々増加している現状もあり、夏休みという気持ちではなくつつあります。

教職員の求人や園児募集に係る幼稚園見学の時期ですが、今後は雇用形態や就業規則等を見直したり、自園のスタンスや方向づけを明確にして行く必要性を感じます。

健康管理に充分気をつけ、広報活動を通じて、幼稚園教育の大切さを微力ながら訴えていけるよう頑張りたいと思います。

広報室 宮田昌一

From the Public Relations Section